

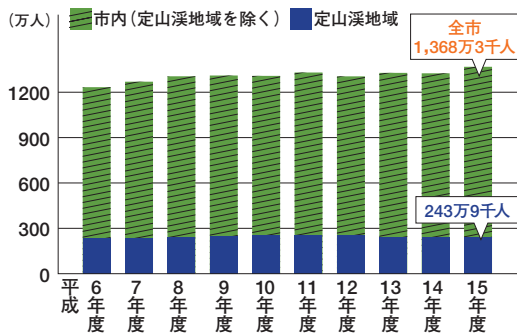
札幌の現状をしてみよう

札幌の観光

1 年間の観光客数の推移

14年度と比べると3.3% (43万2千人) 増加。
昭和42年度の調査開始以来、最高記録を更新しました。

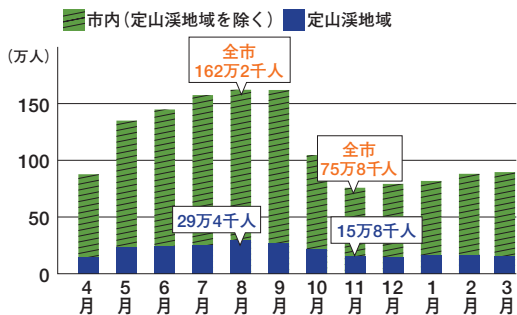
■市内観光客数の推移



2 1年の観光客数の推移

観光客数が最も多い月は8月で、最も少ない月は11月。その差は86万4千人です。

■市内観光客数の月別の推移 (平成15年度)



3 市内観光施設の利用者数

利用者数の多い順は次の通り。時計台は11位で、利用者数は24万1,927人となっています。

■主な観光施設の入場者数 (平成15年度)

1	JRタワー展望台	72万5,095人
2	円山動物園	65万3,091人
3	大倉山ジャンプ競技場	61万8,692人
4	羊ヶ丘展望台	50万4,192人
5	藻岩山	49万5,005人
6	テレビ塔展望台	41万2,593人
7	北海道庁旧本庁舎	38万0,703人
8	札幌市青少年科学館	36万2,066人
9	サッポロさとらんど	34万5,220人
10	ISHIYA白い恋人パーク	24万3,663人

参考資料：平成16年度版札幌の観光

来客を増やすためこんな取り組みをしています

札幌の観光客数は、ここ数年横ばいで推移しており、時期によってばらつきが見られます。そのため、年間を通じてたくさんの人に訪れてもらえるようにすることが、課題となっています。

市では、札幌の魅力を広く伝えるため工夫を凝らしたPR活動に力を入れる一方、国際的な会議・大規模な催し (=コンベンション) の開催を促すことで、人が集う機会づくりに取り組んでいます。

札幌の魅力を発信しています！

- 観光客を増やすため、首都圏を中心に旅行会社や報道機関などに、四季を通して楽しめる札幌の魅力を売り込みます(11月上旬に実施)。
- 首都圏で、利用者の多いJR山手線の列車内に広告を出したり(10月1日(金)~31日(日)に実施)、PRのためのイベントを行ったりします(10月23日(土)・24日(日)に実施)。

「おもてなし」の向上に努めています！

- 市民の方を対象に、実際に観光施設での案内などを体験してもらう「さっぽろおもてなしday」を行います(9月17日(金)~20日(祝)に実施)。
- おもてなしの気持ちを高めるために、地下鉄車内と大通駅にポスターを掲出します(9月1日(水)~28日(火)に実施)。
- 約300人の観光ボランティアが大通公園観光案内所などで活動しています。

四季折々の催しを開催しています！

- 春のライラックまつりや秋の菊まつり、そして夏まつりと雪まつり。例年開催しているこれらの催しを、一層にぎわいのあるものへとしていきます。

来客2千万人の達成に向けた市民・企業との取り組み

昨年度から始めた2つの会議を、継続して開催しています。

市民会議

【集客交流市民アイデア会議】

公募で選ばれた12人の市民と市が、より多くの人に札幌を訪れてもらうためのアイデアを出し合い、議論を深めています。今年度は、市民の視点で考える「観光コースづくり」を進めており、実際に市内を歩くなどして札幌ならではの魅力の発見に取り組んでいます。

企業懇談会

【集客交流戦略懇談会】

宿泊業、旅行業、運輸業、観光施設、広告業、報道機関など多彩な企業から約30人が集まり、意見交換を行っています。今後は、企業と市が連携してより効率的な事業を行っていくために、アイデアを具体化していく予定。藻岩山や定山渓温泉の活用などについても検討します。



←野球やサッカーなどでにぎわう札幌ドーム(豊平区羊ヶ丘1)

↓会議や展示会などさまざまな催しの開催が可能な札幌コンベンションセンター(白石区東札幌6の1)



主な催しのデータ

●2002FIFAワールドカップ

(社)北海道未来総合研究所調べ

開催期間：平成14年(2002年)6月1、3、7日
観客動員数：15万3,271人
経済波及効果：73億4,253万円

●第50回さっぽろ雪まつり

(観光企画課調べ)

開催期間：平成11年(1999年)2月5日~11日
延べ観客数：220万1千人
経済波及効果：268億円